

決算審査特別委員会



決算審査特別委員会 伊東康夫委員長、北村徳章副委員長

情報ネットワークシステムは

Q 各市町村とも、行政システムや、情報系ネットワークシステムの費用が大きくなウエイトを占めており、この大きな委託金額を担当者が調整しようとしても不可能です。

埼玉県町村会として23町村にて同一の委託をしているようですので、首長間の調整を図り交渉すべきと思います。滑川町においては、

A ○基幹系システム（住民の情報管理）5,600万円
○情報系システム（インターネット、パソコン、メール、地図情報等）1,700万円
費やしております。

A 埼玉県町村会との一本化で実施をすべく検討しております。

後期高齢者検診の受診率増加は

Q 平成23年度における後期高齢者検診対象者に対し受診者数が低く、受診率が12・8%になっています。何か対策を実施しているのですか。

A 対象者の中には日頃からの「かかりつけ医」があり、そこで普段、定期的な受診している人達がいるということ、町の検診は受けていないのだと考えます。従って今のところ受診していない人には検診をすすめています。



検診風景

Q 小規模契約希望者登録制度はどのように活用されているのか

A この制度での平成22年度と23年度を比較しての発注数値は。

A 平成22年度、電気関係4件、工事関係6件、水道関係2件、物品関係2件。合計14件。340万2,189円。23年度は、13件、6件、2件、0件。合計21件。427万832円でした。増えたのは、件数7件、金額86万8,643円でした。

本人通知制度について

Q 住民票や戸籍謄本・抄本等の第三者の不正取得による財産等の被害を防止するため、あらかじめ申請により登録した住民の方に、本人、家族以外の第三者の請求による証明書等の発行があった場合にその旨を通知する制度が平成22年度より始められました。23年度は通知が何件ありましたか。また、本人への通知は、発行後、どの位の間に連絡するのですか。急を要することと思いますが。

A 23年度の通知件数は0件でした。通知は請求のあったその当日中にします。

災害時要援護者管理システム導入事業について

Q このシステムはどのように活用するのですか。

A 要援護を希望する方を、既に町側ではこのシステムに登録管理し、作成してあります。また、援護して下さる方たちにも登録していただき、一覧表として名簿を作りました。これにより災害時には手助けをお願いしたいと考えています。

防犯パトロールや見守り活動の実施について

Q 14行政区に設立した19の自主防犯活動組織の取り組みは。

A 防犯活動を行う人にはパトロール用品としてベスト、帽子等を配布し、子ども達の登下校時に見守り活動をしていただいています。また地域毎に不審者等にも気を配り、住民皆様の安全を守ってくださいと思っています。

子宮頸がん予防ワクチン接種について

Q 町では、中学生、高校生を対象に子宮頸がん予防ワクチンの接種事業を行っています。これは間隔をあけて3回接種するとその効果があるとのことですが、23年度の一回目に接種した人数が二回目、三回目までに減っていますが、なぜですか。

A 一回目は希望者の多くが接種出来ましたが二回目、三回目には、ワクチンが不足していたため接種出来ませんでした。その分は24年度に実施することになっています。

被災地への職員派遣はつづけるのか

Q 被災地支援パートナー松島町への職員派遣は、



被災地のがれき

重要な仕事をまかされ、大変感謝されているとのこと。派遣された職員も自信と誇りを感じているようです。被災地復興とともに職員の資質の向上にも繋がると考えます。来年度も職員派遣はあります。

A 来年度もつづけて派遣したいが、滑川町も人口の増加とともに、職員数の不足も心配されます。

しかし、一日も早い被災地の復興を願い、支援パートナーの役割を担いたい。自ら派遣を望む職員もいますので、それらから人選していきたいと考えています。

環境保全、節電対策への取り組み

Q 恒久的な環境保全、節電対策にLED照明の使用

用を提言してきました。街路灯（防犯灯）だけで全町2,000灯、電気料も年間1,000万円との事、社会的にはLED照明に積極的に取り組みをしています。電気料だけでも6分の1位になります。費用面でも補助的な事も考えられ、これからの進め方をうかがいたい。

A 今までは費用面のこともあり対応が遅れていました。今後、街路灯も含め、何年かに分割して、計画を立てて進めていきたい。

国民健康保険税未納者への保健証の交付は

Q 国民健康保険税の未払いが前年比3.2倍になっています。原因と対策は。

A 無財産や生活困窮対象者や、死亡者、出国者などが原因です。対策は、県指導の下、適切な事務処理を行います。納税相談も行っています。

Q 保険税が納められない個人の保険証はどうなりますか。

A 短期国民健康保険証や、資格者証を発行しています。

Q 国民健康保険証を持たない無保険者はどのくらいいますか。

A 滑川町では、無保険者の方はいません。

町外の保育園に通っている園児の数は

Q 町内の園児が町内の保育園に276人で、管外保育園といわれている町外の保育園に通っている園児が39人となっています。主にどのような市町村の保育園に通っていたのですか。

A 東松山市をはじめとして10市町村にお世話になっています。仕事場の近くということ、東京都内の保育園に通っている園児も1人いました。

Q 管外保育の受入で、他の市町村から滑川町の保育園に通っていた園児は何

A 19人の園児が町外から来ていました。

ミヤコタナゴの今後は

Q 23年度ミヤコタナゴに關して1,500万円強を使用しており、23年度繁殖数が2,000匹との事です。1匹当たり7,500円かかり2枚貝の入手も困難の様子です。ミヤコタナゴの棲む町として知れ渡りましたので名前だけ残し、繁殖を止める事は出来ないのですか。

A ミヤコタナゴの保護育成には、費用はかかりますが、この自治体においても、自然を保護するために、費用を費やしております。町においても費用はかかりますが、存続していきます。



元気な園児たち